



講演ライブ “親子の絆は世界一の宝物” どん底の俺を救ってくれた親のコトバ

杉山裕太郎

すぎやまゆうたろう

魂のヴォーカリスト

想定する対象者

- ・PTA、市民会議、補導員、保護司など青少年健全育成関係者の方々
- ・子どもたちと関わる全ての方々

背景・課題

現代のネット社会の影響で、人との繋がりが非現実化し、コミュニケーション不足による自殺や猟奇殺人事件などの悲劇が後を絶たない。又、モンスターペアレントと呼ばれるような親が増加し、子供や社会と真摯に向き合えない幼稚な大人による事件や、その子供達への愛情不足が招いた負の連鎖が続いている。国も『大人が変われば子供も変わる』と言っているように、社会の宝である子供たちが夢や希望を持てる社会を作るために、大人が今変わっていかなければならない。

コンセプト/メッセージ

元暴走族リーダーで薬物中毒だった杉山が、どん底の中で親と衝突したある夜に、父から貰ったたった一言のコトバに愛情を感じ、更生した自身の赤裸々な体験をもとに、照れず、惜しまず、日頃の感謝や謝罪、愛情をコトバにして与える事によって、自殺や猟奇殺人などで失われる大切な生命の中に、救える生命がたくさんあることを実感。コミュニケーション不足な現代のネット社会に一石を投じるために、親子の絆やコトバの大切さをアカペラや弾き語りの歌などを交えた講演ライブで世の中に訴える。

内容

基本的な構成は、対象者や会の主旨に呼応した講演を約70分、歌を約20分(4曲程度)です。

下記、曲目タイトルを掲載していますが、対象者・主旨に応じて曲目を変更する場合がございますので、ご了解下さい。

1. 自己紹介

- ・非行エピソードから更生エピソードなど
- 「君が星になった日」～更生した時に出来た曲

2. なぜグレたのか？

- ・親や周りの大人たちとの関係を振り返り・・・

3. どん底から救ってくれた親のことば

- ・たった一言で変わった感動の一夜
- ・気持ちや愛情を“ことば”にして伝えることの大切さ
- 「コトバ」～コトバの大切さを伝えたくて

4. コミュニケーション不足が招く悲劇・大惨事

- ・低年齢化する自殺～親を頼れない子どもたちの深い孤独と悲しみ
- ・秋葉原17人殺傷事件～愛情不足が人への憎しみを生み、無差別殺人へ向かわせる！
- ・江東区バラバラ事件～バーチャルの世界で生きてきた若者の怖さ・闇の深さ

5. ネット社会との付き合い方

- ・ネット社会は、若者の現実逃避を促進
- ・大人都合で“ネット社会”を作り上げたことを忘れるな！
- ・1クリックで安易に“PCコミュニケーション”“携帯コミュニケーション”をとる若者たち
- ・仮想世界が招く弊害 ~ 失敗を恐れて、現実社会からの逃避を図る若者たち

6. 親子の絆を強くするために

- ・親や地域・周辺の大人たちは、子どもたちの大きな受け皿であれ
- ・自己も他者も尊重できる子どもに育つには ~ 愛される喜び、愛に満ちたコトバを親からもらった子どもたち
- ・大人が変われば子どもも変わる！ ~ 照れず、惜しまず、コトバを掛ける、抱きしめる

7. フィナーレ

さあ、みんなで歌いましょう！

根拠・関連する活動歴

中学時代から非行に走り、元暴走族リーダーで薬物中毒だったどん底から、親にもらったコトバによって愛情を感じ23歳の時に更生。そこからサラリーマンを経て大学に入学。教員免許や宅建などの資格を取得し大学を首席で卒業。卒業と同時に歌手を目指して上京し、CDデビューやラジオ番組、役者などを経て、過去の経験を生かした歌を交えた講演ライブ活動を開始。

実績・評価

(主な実績)

東京岐阜県人会(青年部)、NPO法人G-net(学生)、岐阜県大垣市荒崎地区ブロック研修会(PTA / 岐阜新聞掲載)、東京都立井草高校(高校生)、神奈川工科大学(学生)、岐阜県少年補導員大会(岐阜県庁:県補導員300人 / 岐阜新聞掲載)、埼玉県立岩槻商業高校(学生)、岐阜県大垣市明るい青少年都市市民会議大会(市民会議、PTA)、岐阜県東濃西部少年指導員委嘱式(補導員や保護司)、愛知県知多市保護司会(保護司)

(2009年度 予定)

岐阜県揖斐郡池田町青少年健全育成大会(町民会議、PTA)、富山県少年補導委員等合同研修会(補導員や保護司)、愛知県稲沢市青少年健全育成市民大会(市民会議)、宮城県仙台市健全育成講演会(保護司、補導員、市民会議、PTA)、群馬県桐生市生命のメッセージ展(学生)、愛知県瀬戸市宝生寺(一般)、岐阜県更生法大会60周年(岐阜県保護司会連合会員約1000名)、岐阜県西濃地区22校の小中学校PTAへの講演会(ライオンズクラブ主催にて8月から随時開催)

(聴講者の声) 以下抜粋

- ・やわらかい歌声が素晴らしく、親子の関係や人とのふれあいの大切さを気付かされました。PTAや学校でも是非講演して頂きたい内容だったと思います。(補導員)
- ・心のメッセージを言葉にして伝える。一言で子供の心が癒される。言葉の大切さをしみじみ感じました。(PTA)
- ・実体験に基づくお話は分かりやすく、お話の節目節目に素晴らしい歌声が聞けて、90分飽きることなく感動させて頂きました。(PTA・市民会議の方々)
- ・モンスターペアレントなどと言われているような若い父母に是非聞いてもらいたい内容でした。歌も言葉が心に響いてとてもよかったです。(保護司)
- ・親の愛情の大切さ、言葉や話し合いの必要性を感じさせられました。言葉で表すことが相手に思いを伝える一番良い方法だということを教えられました。

・ライブ形式の講演は初めてで新鮮でした。若い人の素直な考えやメッセージが聞けて良かった。(補導員)
・なかなか聞けない実体験のお話はコトバに説得力があり、感動しました。歌もGOOD!(PTA)
....etc....

■プロフィール

暴走族リーダーで薬物中毒だったどん底の青春から、親が掛けてくれた愛に満ちた“ひとこと”で更生。照れず惜しまず、愛情を具体的な言葉にして伝えることによって、自殺や猟奇殺人などで失われる尊い生命の中に、救える生命がたくさんあることを実感。アカペラの歌などを交えた魂の講演ライブが好評。

職歴・経歴

(経歴)

1974年6月26日 岐阜県に生まれる。

1987年 中学時代非行に走り始め、暴走族リーダー、薬物中毒など経験。

1997年 親との和解をきっかけに愛情に目覚めて再出発、更生へ。

2000-2004年 朝日大学法学部入学、首席で卒業、教員免許、宅地建物取引主任者取得。卒業と同時に歌手活動の為に上京。

2007年 ファーストマキシシングル『BIRTH』発売。

2008年2月 AM岐阜ラジオレギュラー出演。学校や社会団体で青少年育成の為に講演ライブ活動開始。

2008年4月 岐阜FMわっちラジオ番組『杉山裕太郎 魂のバラード』放送開始。

2008年11月 岐阜県少年補導員大会にて講演LIVE。(岐阜県庁:県補導員300人/岐阜新聞掲載)

2008年11月 映画『築城せよ!』出演、Vシネマ俳優としてもデビュー。

2008年12月 犯罪被害者遺族支援活動『生命のメッセージ展in早稲田大学』のファイナルライブ2年連続出演。

2009年 2月、ファーストアルバム『SOUL VOICE』発売。

2009年 3月、岐阜県大垣市明るい青少年都市市民会議大会にて魂のヴォーカリスト日本縦断講演ライブを宣言。

活動

歌手、講師、ラジオパーソナリティ、俳優、青少年健全育成や犯罪被害者支援などの活動に力を入れ、日本全国での歌を交えた講演ライブ活動を中心に役者やラジオパーソナリティなどマルチに活躍中。

専門分野

青少年健全育成関係全般(親子愛、人間愛、自己啓発的なものなど。子供から大人まで)・非行防止関係(薬物問題、ネット犯罪など)・モチベーションアップ・チャレンジ・夢・魂など人生に関するもの等。